

授業科目 社会福祉援助技術論Ⅱ

社会福祉学  
科  
専  
門

【担当教員名】 村上信	対象学年	2	対象学科	社会（2年）
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

社会福祉の諸施策をサービス利用者にとって価値あるものにするために、福祉施策を具体化していく過程で不可欠な専門的社会福祉援助活動（ソーシャルワーク）で用いられる援助の方法・技術（社会福祉援助技術）に関する全体系を総合的に学ぶ。  
社会福祉援助技術論Ⅱでは、ソーシャルワークの体系、および理論と技術を理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 社会福祉援助技術の体系を説明できる。
2. 直接援助の理論と技術を説明できる。
3. 間接援助の理論と技術を説明できる。
4. そのほかの援助技術について説明できる。
5. これからのソーシャルワークの課題について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション		講義
2	ソーシャルワークの体系と関連性	1	
3	ケースワークの理論と技術	1, 2	
4	グループワークの理論と歴史・展開過程	1, 2	
5	コミュニティワークの理論と歴史・展開過程	3	
6	ソーシャルワーク・リサーチの理論と技術	3	
7	ソーシャルワーク・アドミニストレーションの理論と技術	3	
8	ソーシャル・プランニングの理論と技術	3	
9	ソーシャル・アクションの理論と技術	3	
10	ケアマネジメントの理論と技術	4	
11	ソーシャル・サポート・ネットワーク	4	
12	ケアワークの理論と技術	2, 4	
13	ソーシャルワークの研究手法	5	
14	ソーシャルワークの展望と課題	5	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	『社会福祉援助技術論〔上〕』	久保統章・佐藤豊道ほか編著	川島書店	
	『社会福祉援助技術論〔下〕』	久保統章・佐藤豊道ほか編著	川島書店	
参考書	『社会福祉援助技術論(上)』	北島英治ほか編	ミネルヴァ書房	
	『社会福祉援助技術論(下)』	北島英治ほか編	ミネルヴァ書房	
その他の資料	必要に応じてプリントを配布する			

【評価方法】 出席状況と定期試験	【履修上の留意点】
---------------------	-----------